

うりずんの詩（歌詞追加）

本調子

うり

合王五王七 合 七八七五工 ○ 中王上 上中工五中上四 合上四合

ずん[△] ぬぐとう に ちむぐ く るむていば、

四 ○ 四上中合中王○ 合五工 ○ 合王五王上 合上○上中王五

うちゆあらなみん、いとうぬういい

中上四王合上四王合王五王七 合七○ 合八七五工○合八七五工 ○

から（さしうりじんぬかじよ やふあやふあとうふきよ

四合上合上中工五中上四王合上四王合中工 ○ 合中工 ○ 合王五王

七 合七○合八七五王○ 合五工 ○ 四 合上合上中王五中上四工

合王五王七 合 七 ○ 合八七五工 ○ 合五四 合上○ 上 中王

五 中上四王合

一、うりずんのごとに 肝心持てば

浮世荒波も 糸の上から

さしうりずんぬ風よ

やふあやふあと吹けよ

二、梯梧の花散りて 草花のみどり

野山色変わて 風も涼ださ

さしうりずんぬ風よ

やふあやふあと吹けよ

三、空とぶる鳥も 野山咲く花に

たわむりて遊ぶ 心嬉りさ

さしうりずんぬ風よ

やふあやふあと吹けよ

四、海や青々と 白浜の磯に

打ち寄せる波に 千鳥鳴ちゆさ

さしうりずんぬ風よ

やふあやふあと吹けよ

五、御万人も揃て うりずんの詩に

我した此の島の 世果報願ら

さしうりずんぬ風よ

やふあやふあと吹けよ